



2025年10月6日
中国電力株式会社

「アセットオーナー・プリンシブル」の受入れについて

中国電力株式会社（以下、当社）は、中国電力企業年金（事業主：中国電力株式会社、中国電力ネットワーク株式会社）の運営において、アセットオーナーの運用・ガバナンス・リスク管理に係る共通原則である「アセットオーナー・プリンシブル」の趣旨に賛同し、各原則の受入れを表明します。

原則1. アセットオーナーは、受益者等の最善の利益を勘案し、何のために運用を行うのかという運用目的を定め、適切な手続に基づく意思決定の下、経済・金融環境等を踏まえつつ、運用目的に合った運用目標及び運用方針を定めるべきである。また、これらは状況変化に応じて適切に見直すべきである。

当社の年金資産については、加入者・受給権者に対する年金給付、死亡一時金、その他の一時金たる給付の支払いを将来にわたり確実に行うため、許容されるリスクの下で、必要とされる総合収益（トータルリターン）を長期的に確保することを運用目的としています。また、資産運用の基本方針を策定し、本方針に則り運用を行っています。本方針は、運用環境等の変化に応じて見直しを行っています。

原則2. 受益者等の最善の利益を追求する上では、アセットオーナーにおいて専門的知見に基づいて行動することが求められる。そこで、アセットオーナーは、原則1の運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備を行い、その体制を適切に機能させるとともに、知見の補充・充実のために必要な場合には、外部知見の活用や外部委託を検討すべきである。

当社は、年金資産の運用については、金融・財務業務の知識・経験を有する担当者を配置し、適切な運営を実現する体制を構築しています。企業年金資産運用委員会を設置し、年金資産の運用の基本方針およびガイドラインを策定し、これらに基づき基本資産配分を定めています。年金資産の運用は複数の運用機関に委託するとともに、各運用機関の運用結果を企業年金資産運用委員会に報告し運用状況を評価しています。企業年金資産運用の基本方針の策定・見直し、基本資産配分の策定・見直し、運用機関の評価、企業年金資産の運用状況の評価については、運用コンサルタントを複数活用し、専門性・信頼性の観点から適切に対応し得る体制を構築しています。

原則3. アセットオーナーは、運用目標の実現のため、運用方針に基づき、自己又は第三者ではなく受益者等の利益の観点から運用方法の選択を適切に行うほか、投資先の分散をはじめとするリスク管理を適切に行うべきである。特に、運用を金融機関等に委託する場合は、利益相反を適切に管理しつつ最適な運用委託先を選定するとともに、定期的な見直しを行うべきである。

当社は、年金資産の運用の目的を達成するため、投資対象としてふさわしい資産を選択するとともに、年金制度の負債特性、不足金発生のリスク許容度および基本となる投資資産の期待収益率、リスク等を

考慮した上で、将来にわたる最適な資産の組合せである基本資産配分を策定し、年金資産の運用を行っています。運用機関構成においては、特定の運用機関および特定の運用商品へ過度に集中しないようにしています。また、基本資産配分および運用機関構成については、利益相反を適切に管理しつつ最適な運用機関を選定するとともに、定期的な見直しを行っています。

原則4. アセットオーナーは、ステークホルダーへの説明責任を果たすため、運用状況についての情報提供（「見える化」）を行い、ステークホルダーとの対話に役立てるべきである。

当社は、加入者・受給権者に対して、毎年度の年金資産の運用状況や財政状況について、社内報等を通じて、情報提供・開示を行っています。

原則5. アセットオーナーは、受益者等のために運用目標の実現を図るに当たり、自ら又は運用委託先の行動を通じてスチュワードシップ活動を実施するなど、投資先企業の持続的成長に資するよう必要な工夫をすべきである。

当社は、企業年金スチュワードシップ推進協議会に加入し、運用機関のスチュワードシップ活動に対する協働モニタリング活動を通して、投資先企業の企業価値の向上に寄与し、中長期的な投資リターンの拡大を図ります。

以上